

百尺竿頭

ひやく しゃく かん とう



札幌市青少年山の家だより

第26号

平成24年(2012年)9月1日

札幌市青少年山の家
事業係長 山田 憲克

プログラムデザイン

新しい学期に入り、青少年山の家でも宿泊学習利用がピークを迎えております。日々、賑やかな子どもたちの歓声と「トントントン」と薪を割るリズムカルな音が心地よく館内に響き渡っています。

小学校生活で「自然体験活動」をテーマとした宿泊活動は、現状、札幌市内では5年生の宿泊学習での1泊2日という学校が多いようです。子どもたちにとって、この1泊2日しかない宿泊学習はとても貴重な時間と言えます。もちろん学校教育だけではなく、子どもたちのあそびからも直接的に自然と触れ合う機会は減ってきている訳ですから、滝野のような自然豊かな場所で過ごす時間を大切に過ごしていただきたいものです。

貴重な時間だからこそ、宿泊学習や自然体験活動ではプログラム作りが重要となってくるはずです。

私たち指導者の中では「プログラム」とは「思い」を「カタチ」にすることとよく言われます。ある一定の目標に参加者を導いていくために、効果的に仕掛けを並べていくことと言えます。ここで重要になってくるのは、「このようになってほしい」という指導者側の一方的な「思い」だけではなく、学び手の側に立つことです。学習者にとって必要なことは何か、何を求めているかを含めた「思い」を持つことだと考えます。

青少年山の家を5月から10月の間に利用する小学校のほとんどが、野外炊事をプログラムに組み入れています。お腹を満たすことも大切な目的のひとつですが、野外炊事はその活動をとおして、個人やグループが何かを感じ、気づき、学ぶことができるプログラムでもあります。協力することの大切さであったり、創意工夫することであったり、親のありがたさであったり…というように。

貴重な自然体験活動の時間。どうか「思い」のつまったプログラムでお過ごしく下さい。



実施事業のご報告

第3回事前研修会 8月6日(月)

札幌市内小学校の先生を対象とした事前研修会も3回目となりました。対象校が少なかつたため、第2回に比べて参加人数も少ない状態でしたが、参加された先生方のご協力もあり、充実した内容の研修会でした。



第1回陶芸教室 「気軽に陶芸! 葉っぱのお皿作り(成形)」 8月26日(日)

滝野周辺の様々な植物をモチーフにしたオリジナル皿作りを行いました。午前中は山の家周辺を散策し、午後から成形作業を和やかな雰囲気の中で行いました。次回(9月2日)に釉薬がけと本焼きをした後、完成となります。



利用者アンケートより

室内でキャンプファイヤーができたことには感動でした。
雨天でもプログラムに支障が出ないのは良いですね。

昨年度と変更になっている点が多かった。

変更点のひとつとして、ゴミの持ち帰りをお願いしております。

環境に配慮し、少しでもゴミを削減することを目的としておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

自然の まめちしき 豆知識

危険は身近に潜んでいる

普段何気なく目にしている草花の中には毒性を持ったものが数多く存在しているのをご存じでしょうか? 毒とは無縁のようなものが猛毒を含んでいたり、見た目は同じでも毒を含んでいるものとそうでないものがあつたりと様々です。

代表的なものとして、トリカブトがあげられます。半数致死量(動物実験でその50%が死ぬとされる用量)0.3mg という猛毒を含んだ大変危険な毒草で、主に沢沿いの湿った場所に多く見られ、春先の若葉や新芽の頃はヨモギやニンソウなどと似ているので、山や森へ出かける際は充分注意が必要です。

トリカブト以外にも毒草は身近に多く存在しています。

正しい知識を身につけ、良く観察し普段から危機感を持つことで、危険を回避すると共に、新たな発見や気づきが楽しみにつながっていくと思います。



トリカブト



ヨモギ

発行者: 札幌市青少年山の家
指定管理者(財)札幌市青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地 (国営滝野すずらん丘陵公園内)
電話 (011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>